

I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

鉱産資源が豊富な国〔あ〕は、石炭、ボーキサイト、ウランなどを産出している。ボーキサイトは、〔(1)〕〔(2)〕の精錬に使われる資源だが、そのために大量の電力が必要になる。他方でウランは、原子力発電の燃料として使われる資源だが、その採掘は環境破壊をともなう。そのため〔あ〕は環境破壊の緩和などの理由で〔(3)〕〔(4)〕政策を1980年代にとったが、2007年にはこの政策を廃止し、輸出拡大をすすめた。こうした政策転換の背景には、主にウランの価格の〔(5)〕〔(6)〕があった。

一般的に原子力発電は、〔(7)〕〔(8)〕の際に生み出される熱を利用し、〔(9)〕〔(10)〕でタービンを回転させて電気をえる発電方法である。世界有数の農業国〔い〕は、原子力発電が一国の総発電量に占める割合が高い。〔い〕と〔う〕が加盟している^(ア)EUでは、地域紛争が活発化した20世紀末から難民の流入が増え、加盟国間の協力が求められている。〔い〕では、〔(11)〕〔(12)〕政策がとられ、公共の場で女性が身体を布でおおうチャドルや〔(13)〕〔(14)〕などの着用を禁じる法律ができた。EU第1の工業国〔う〕は、2000年からの20年間で国内すべての原子力発電所を廃止することを決めた。〔う〕の中西部のモーゼル川支流域に位置する〔(15)〕〔(16)〕地方は〔い〕との国境に近く、重要なエネルギー資源の1つである石炭をめぐって両国間の領有問題が生じることもあった。

化石燃料を用いない原子力発電は、地球温暖化の一因とみなされる〔(17)〕〔(18)〕を直接排出しない。だが、1979年の〔(19)〕〔(20)〕原子力発電所事故、1986年の〔(21)〕〔(22)〕原子力発電所事故、2011年の福島第一原子力発電所事故などにより、原子力発電の安全性が問われてきた。太陽光や地熱などの〔(23)〕〔(24)〕に期待がよせられているが、これらの発電方法には、現時点では供給の安定性などの面で課題があるといわれる。日本は、〔あ〕などの諸外国から輸入した石炭やウランなどを発電に用いる一方、〔い〕とのあいだには原子力発電所の事故対策や廃炉などの技術面で協力関係を構築してきた。そして日本と〔い〕は、^(イ)資源の乏しい国として原子力発電の推進に取り組んできた点で共通しているといえよう。とくに火山国として知られる日本では、^(ウ)地熱発電は重要な発電方法とみなされている。たとえば、大分県玖珠郡には〔(25)〕〔(26)〕の地熱を利用した八丁原発電所がある。

問1 文中の空欄〔(1)〕〔(2)〕～〔(25)〕〔(26)〕にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄〔(1)〕～〔(26)〕にそれぞれマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|----------|
| 11 阿蘇山 | 12 アルパカ | 13 アルミニウム | 14 一酸化炭素 |
| 15 ウバーレ | 16 雲仙岳 | 17 エネルギー革命 | 18 オハキ |
| 19 御嶽山 | 20 核燃料サイクル | 21 核分裂 | 22 過酸化水素 |
| 23 霧島山(御鉢) | 24 霧島山(韓国岳) | 25 霧島山(新燃岳) | 26 九重連山 |
| 27 口永良部島 | 28 下落 | 29 高騰 | 30 ザール |
| 31 再生可能エネルギー | 32 産業 | 33 三鉱山 | 34 酸素 |
| 35 シェールガス | 36 自由貿易 | 37 蒸気 | 38 植民地分割 |
| 39 人種隔離 | 40 水素爆発 | 41 スリーマイル島 | 42 政教分離 |

- | | | | |
|------------|---------------|------------|---------------|
| 43 代替エネルギー | 44 脱原発 | 45 チェルノブイリ | 46 鳥海山 |
| 47 都市鉱山 | 48 二酸化炭素 | 49 ニッケル | 50 ヌアワプルワ |
| 51 燃料棒 | 52 バイオマスエネルギー | 53 磐梯山 | 54 一人っ子 |
| 55 富士山 | 56 プラチナ | 57 ブルカ | 58 崩壊熱 |
| 59 マクラ克蘭 | 60 水 | 61 メルトダウン | 62 リサイクルエネルギー |
| 63 ルール | 64 ロレーヌ | 65 ワイラケイ | |

問2 下線部(イ)について、日本は、採掘された資源を用いて発電した後に生じる使用済み核燃料を再処理し、燃料の有効活用と長期利用に向けて取り組んできた。この過程を表す語句として最も適当なものを問1の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄 にマークしなさい。

問3 下線部(ウ)について、南半球で1958年に運転を開始した世界有数の発電所名として最も適当なものを問1の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄 にマークしなさい。

問4 下線部(ア)について、以下の文章を読み、()に当てはまる語句を解答用紙Bの所定の欄に6字以内で記入しなさい。

「EUが2006年にトルコとの加盟交渉を中断した後、トルコより後から加盟申請した国の加盟が認められると、トルコ国内ではEUに対する批判の声が高まった。それは、()に対する反感がEUへの加盟を妨げたという批判であった。」

問5 空欄 には、「19世紀中頃のゴールドラッシュでの人口増加」や「面積769.2万km²、人口2,387万人(2015年当該国統計局による)」などの特徴が確認される。これらを参考にして の首都名を答えなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 空欄 の中北部に位置する地区では、1958年以来、再開発の過程で新しい公共施設や高級住宅群などが建設されてきた。この地区のシンボルとして知られる門の名前をカタカナで答えなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 空欄 と同じくEU加盟国で、北海とバルト海に面し、風力発電の活用などの特徴を持つ、面積4.3万km²の立憲君主国の名前を答えなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

社会を考える上で人口は最も重要な要素の1つである。人類の歴史において、ある地域の扶養可能な人口は、自然環境とそれが提供する資源によって制約されてきた。その観点からすると、世界の人口増加の歴史的過程には3つの大きな段階が認められる。1つ目は狩猟採集の時代、2つ目は農耕・牧畜の開始から(31) (32) 前夜まで、3つ目は(31) (32) から現在までである。それぞれの段階の中でも、人口はいろいろな要因で変動した。ヨーロッパでは14世紀半ばに人口が激減したが、その原因は(33) (34) であった。また、(あ)と(い)では、(35) (36)以降、ヨーロッパ系の人々との接触が始まると、先住民の人口崩壊が広範に見られた。他方、(あ)での労働力にあてるための強制的な人口移動は、(う)西部の人口に相応の抑制効果をもたらしたと考えられている。

(31) (32) を経て生産力・技術力が向上すると、その恩恵を受けた西ヨーロッパをはじめとする地域で死亡率が低下し、世界の人口増加傾向が高まった。さらに、(37) (38) 後には、医療・保健衛生の改善などにより、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの発展途上国でも死亡率が低下したことが、(39) (40) をもたらした。人口問題を最初に指摘したのは、『人口論』を著した(41) (42) であった。彼は自然環境や政策による抑止力が働かない限り、(43) (44) に増加する人口に(45) (46) が追いつかないとして、人口増加の問題に警鐘を鳴らした。

しかし現在、世界の先進地域では人口が減少に転じる国が現れ、西ヨーロッパや東アジアでは、高齢化を伴った少子化こそ、最大の人口問題になりつつある。人口動態が多産多死から多産少死を経て少産少死へ移行することを(47) (48) という。この変化においては、(49) (50) が重要な指標となっている。現在の日本で人口を維持するのに必要な(49) (50) はおよそ2.1であるが、2003年にこの数字は(51) (52) を切った。その後少し回復傾向にあるものの、依然、(ア)きわめて「少産」といわざるをえず、(イ)日本の人口の未来が危ぶまれている。日本の人口の実態は(53) (54) が5年ごとに行う国勢調査によって明らかにされる。その間の年の人口推計は、人口変動の3要素である出生・死亡・(ウ)移動のデータから求められる。(エ)出生数の減少により、2010年には日本の年少人口が総人口に占める割合は(55) (56) %となった。

問1 文中の空欄(31) (32) ～(55) (56) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄(31) ～(56) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|---------------|-----------------|-------------|---------------|
| 11 0.9 | 12 1.3 | 13 1.8 | 14 2.0 |
| 15 9.8 | 16 13.2 | 17 23.1 | 18 63.7 |
| 19 安定人口 | 20 エルニーニョ現象 | 21 エンゲルス | 22 オイルショック |
| 23 カント | 24 寒冷化 | 25 幾何級数的 | 26 工業生産 |
| 27 合計特殊出生率 | 28 厚生労働省人口問題研究所 | 29 国際人口開発会議 | |
| 30 国土交通省総合政策局 | 31 国民所得 | 32 産業革命 | |
| 33 算術級数的 | 34 社会福祉 | 35 食糧生産 | 36 人口構成(人口構造) |

37 人口水準	38 人口政策	39 人口増加率	40 人口転換（人口革命）
41 人口爆発	42 人口ボーナス	43 人口密度	44 人口モメンタム
45 スエズ運河開通	46 スペイン風邪	47 漸進的	48 総務省統計局
49 大航海時代	50 第2次世界大戦	51 同時多発的	52 都市機能整備
53 ペスト	54 マルクス	55 マルサス	56 ロシア革命

問2 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、それぞれの番号を解答用紙 A（マークシート）の解答欄 ～ に順にマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|---------|-----------|------------|----------|
| 1 アジア | 2 アフリカ | 3 アメリカ（大陸） | 4 アラビア半島 |
| 5 オセアニア | 6 グリーンランド | 7 コーカサス | 8 シベリア |
| 9 ユーラシア | | | |

問3 下線部（ア）について、現在、アジアには1人の女性が生涯に産む子供の数を示す指標が日本より低い「少産」の国と地域がある（WHO「世界保健統計2015年」などによる）。その中から国連に加盟している国を2つ解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問4 下線部（イ）について、過疎と高齢化により共同体の存続が危ぶまれる状態になった集落に対して、1990年代から用いられるようになった呼び名を、漢字4文字で解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問5 下線部（ウ）について、次の（1）（2）の問いに答えなさい。

- （1）移動による人口の増減を何というか。解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。
- （2）現在国際的な人口移動では、紛争や政治的混乱が理由で国外に逃れる人々が急増しているが、この問題を担当する国連の機関名を、漢字で解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問6 下線部（エ）によって、2005年に日本の総人口は戦後初めて減少した。その後、一時的に微増をみたが、2011年からは減少しつづけている。日本の人口減少は、2030年代に急激に加速すると予測されている。この予測の主たる根拠は何か。解答用紙 B の所定の欄に25字以内で書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

東南アジア諸国において、モノカルチャー経済からの脱却と経済発展を目的とした工業化は、1960年代、1970年代を通じて進展した。1960年代に各国は (60) (61) 政策から、輸出志向型工業化政策へと移行した。例えば、シンガポールでは (62) (63) 年にジュロン工業団地が建設され、その後、マレーシアでは (64) (65) 島の (66) (67) 周辺に工業団地が造成された。東南アジア諸国では、このような工業団地の中に、^(ア)輸出加工区が設けられた。そこでは、国外や域外、さらに世界市場への輸出により、大量生産の利点を企業が生かすことができ、輸出量の増加につながった。輸出加工区では外国企業の誘致が進み、1997年の (68) (69) の頃までは、外国企業が東南アジア諸国にこぞって進出した。結果的に、外国企業からの技術移転も進み、 (60) (61) 時代の技術力不足の解決にもつながった。

東南アジア諸国が加盟しているASEANは1967年に設立され、 (70) (71) から独立した (72) (73) が1984年に、 (74) (75) が1995年に、 (76) (77) が1999年にそれぞれ加盟し、加盟国は10カ国となった。ASEANは経済・社会分野での相互協力組織であり、域内での協力関係を強めている。 (78) (79) 年の^(イ)ASEAN首脳会議で合意された (80) (81) は、域内の関税撤廃への取り組みや、域内貿易の拡大と投資の促進を目的としている。

東南アジア諸国では、工業化と (80) (81) の成立に伴い^(ウ)貿易構造に変化がみられた。たとえば、自動車産業をみると、フィリピンではトランスミッション、マレーシアではステアリングギアが生産され、タイではそれらが輸入され、組み立て作業が行われている。このように生産の工程間で国を超えて依存しあう (82) (83) が東南アジアでみられるようになった。こうした傾向は、地球規模でもみられる。その一例として、旅客機産業では、エンジンは (84) (85) 企業と (70) (71) 企業、主翼ボックス構造は日本企業、着陸装置構造はイタリア企業、主翼先端は韓国企業が生産し、 (84) (85) で最終的に組み立てられている。 (82) (83) が加速した背景の1つとして、製造業における企業の^(エ)多国籍化があげられる。外国企業が東南アジア諸国へ進出し (82) (83) を進展させることにより、東南アジア諸国はその恩恵を受け、工業化を進展させることができた。東南アジア諸国の産業構造の転換が進み、 (86) (87) の低い製品の製造は域内の発展途上地域に移り、域内の先進地域では、より (86) (87) の高い製品を生み出せる産業への転換がはかられている。その結果、域内の先進地域では膨大な研究開発費を要するバイオテクノロジー、医療機器などの分野に関連した (88) (89) 集約型産業が発展しつつある。

問1 文中の空欄 (60) (61) ～ (88) (89) にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (60) (89) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 1951	12 1961	13 1966	14 1971
15 1972	16 1976	17 1982	18 1986
19 1992	20 1993	21 AFTA	22 ALADI
23 APEC	24 ASEM	25 OPEC結成	26 アジア通貨危機

27 アメリカ	28 イギリス	29 インドネシア	30 液化天然ガス
31 オランダ	32 関税	33 カンボジア	34 機械類
35 経済開放体制	36 研究	37 原油	38 国際分業
39 米	40 シンガポール	41 資本	42 シャーラム
43 自由貿易	44 重商主義	45 ジョージタウン	46 ジョホール・バル
47 スウェーデン	48 すず	49 精密機器	50 石炭
51 石油化学製品	52 石油ガス	53 石油製品	54 繊維品
55 タイ	56 知識	57 自動車	58 ティオマン
59 天然ゴム	60 ドイツ	61 どうもろこし	62 パーム油
63 バンギ	64 フィリピン	65 フェアトレード	66 付加価値
67 プラスチック	68 フランス	69 ブルネイ・ダルサラーム	
70 ベトナム	71 ペナン	72 貿易摩擦	73 保護貿易
74 ポルトガル	75 マレーシア	76 ミャンマー	77 ミンダナオ
78 木材	79 モントリオール議定書発効		80 野菜
81 輸送コスト	82 輸入代替型工業化	83 幼稚産業保護	84 ラオス
85 リーマンショック	86 労働		

問2 下線部(ウ)について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい(データは世界国勢図会などによる)。

- (1) 2012年において、インドネシアでは8.9%、シンガポールでは41.7%、タイでは28.8%、マレーシアでは36.5%をそれぞれ占める輸出品目がある。この品目を問1の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄 にマークしなさい。
- (2) タイは東南アジア屈指の工業国に成長し、近年では技術力も向上している。タイの輸出品目について、1980年にはほとんど存在しなかったが、2012年には第2位(10.5%)を占めるようになったものを問1の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄 にマークしなさい。
- (3) 1980年にマレーシアの輸出品目の第2位である16.4%を占めていた品目を問1の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄 にマークしなさい。ちなみに、2012年にマレーシアの輸出品目の第2位である8.0%を占めていた品目は液化天然ガスである。

問3 下線部(ア)に企業が進出する際、課される最も重要な条件を(1)とし、得られる最も重要なメリットを(2)として、それぞれ解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(イ)について、2003年の首脳会議では、3つの柱からなるASEAN共同体の実現を目指すことが採択された。その3つの柱は「ASEAN(1)共同体」、「ASEAN(2)共同体」、「ASEAN(3)共同体」である。(1)、(2)、(3)にあてはまる語句を漢字で解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問5 下線部(エ)が進んだ理由として、「(1)、(2)の増大、および国家間や地域間の(3)の拡大」があげられる。(1)、(2)、(3)にあてはまる語句を解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。